



6月と言えば梅雨。梅雨と言えば紫陽花。こう連想される「紫陽花」。紫陽花の英語名は「ハイドランジア」=水の器という意味があり、たっぷりの水を蓄えていることが由来だそうです。でも、大きな葉がたくさんあるので、乾いてしまうと元気がなくなります。だから、雨の時期に満開に花を咲かせます。

雨が続き、どこか気持ちが下を向いてしまいがち…。植物にとって恵みの雨のように、私たちにとっても雨の日があるからこそ、天気の良い日が一段と嬉しく感じるのではないのでしょうか。

奄美地方梅雨明けしました！

これから気を付けるべきは熱中症…

熱中症予防の

か き く け こ

か”まんは禁物

き ゆうに暑くなる日には気をつけよう

く ろい服はなるべく避けよう

け んこうな人も油断しないで

こ まめに水分補給を



はい、ココ注目↓↓

新しい生活様式 ～マスク着用 学校編～

- ① 登下校中のマスクの着用は必要ないこと。
- ② 体育の授業ではマスクの着用は必要がないこと。
- ③ その他の授業でも、熱中症の心配や人との距離が十分に確保される場合は、マスクは外してもよい。

※ ただし、手洗い・うがい・アルコール消毒等の対策は行うこと。

※ 間隔を十分あけることや屋内では換気を十分行うこと。

上記のように学校現場でのマスク着用の在り方が変わってきています。熱中症に気をつけながら対策も忘れずにしましょう！

☆参考までに

～厚生労働省提言～

「新しい生活様式」に

おける熱中症予防行動のポイント



【保護者の皆様へ】

❀ 健康診断結果一覧通知書配付しました ❀

1学期に行われた、全健康診断結果を一覧にしたものをお返しました。治療を要する項目があった生徒には、**治療勧告書**も同封してあります。早めに医療機関での治療をお願いします。



6/9 「がん教育」 ～ “いのちのバトン” オンライン授業～



6月9日(木)6校時に「NPO法人 がんサポートかごしま」の神田和恵さんを講師に迎えて、オンラインによる遠隔授業を行いました。

授業では、がん当事者である神田さんが、がん発見から治療～現在に至るまでのお話やご家族の事などを丁寧に紹介してくださいました。神田さん自身、がんになったからこそ伝えたい“いのちの大切さ”や健康で何気なく過ごす日常が**当たり前ではない**ということ涙ながらに話してくださいました。

「がん」=怖い・つらい・死といった、負のイメージで占めていた考え方が少しは転換できたのではないのでしょうか。それは、生徒たちの感想からも見て取れました。がんを患っても、元気で生き生きと活動していらっしゃる神田さんや上水流さん(講話の中で登場)

の姿は、生徒たちの心に何か響いたものがあつたようです。「怖い」「つらい」「すごい」「助けたい」「自分ならこうしたい」など、様々な感情が動かされた1時間でした。日常では得られない深い学びを経験できました。今後、生徒たち自身、「いのちのバトン」を受け継ぎ、生かして行ってほしいと強く感じました。



6-21 「歯と口の健康教室」実施しました



今年も、歯科衛生士の「中 吟子先生」にお越しいただいて、歯と口に関する講話を聞き、赤色の染め出し液を用いて丁寧にブラッシングを行いました。自分の歯科検診結果などから自分の歯の特性を知り、歯の磨き方の弱点やコツなどを押さえながら、一生懸命取り組んでいました。



生徒は、赤く染まった自分の歯を見ながら、1本1本丁寧にブラッシングできていました。今回の授業が、自分の歯や口腔環境を清潔に保つといった意識づけとなればよいと思います。



